

平成 30 年度社会福祉法人さやか
事業報告書

01. 法人の概要

主たる事務所の所在地	山口県山口市平井字宮地952番地10
ふりがな 法人の名称	しゃかいふくしほうじんさやか 社会福祉法人さやか
理事長	立石 彰男

02. 法人の行う事業

事業の種類	施設種別
社会福祉事業	第1種 第2種
	就労継続支援B型事業 さやか工房 共同生活援助事業 さやかホーム
公益事業	なし
収益事業	なし

03. 役員・評議員等の状況(平成31年3月31日)

理事会/役職	氏名	現就任月日
理事長	立石 彰男	平成29年06月18日
理事	中村 陽子	平成29年06月18日
理事	中田 慎吉	平成29年06月18日
理事	小迫 奈美枝	平成29年06月18日
理事	弘中 和芳	平成29年06月18日
理事	上原 京子	平成29年06月18日
監事	土生 建介	平成29年06月18日
監事	安田 博文	平成29年06月18日

評議員会	氏名	現就任月日
評議員	藤林 玲子	平成29年04月01日
評議員	松澤 直美	平成29年04月01日
評議員	神茂 順子	平成29年04月01日
評議員	北村 るみ	平成29年04月01日
評議員		
評議員		
評議員		

04. 評議員選任・解任委員会

評議員選任解任委員	氏名	現就任月日
監事	安田 博文	平成29年03月26日
外部委員	田中 洋治	平成29年03月26日
職員	山本 都	平成29年03月26日

05. 平成30年度理事会開催状況

第1回； 平成30年06月03日	<ol style="list-style-type: none"> 1 職務の執行状況の報告—業務執行理事 2 平成29年度社会福祉法人さやか事業報告書 3 平成29年度社会福祉法人さやか決算書 4 監査報告書 5 事業報告書、決算書の承認について 6 平成30年度補正予算書について 7 定時評議員会への招集について
第2回； 平成31年03月17日	<ol style="list-style-type: none"> 1 職務の執行状況についての報告—理事長、業務執行理事 2 平成30年度補正予算案について 3 平成31年度事業計画案について 4 平成31年度予算案について 5 法人監査報告について 6 経理規程の変更について 7 工賃変動積立金の口座変更について 8 評議員会の招集について

06. 平成30年度評議員会開催状況

第1回； 平成30年06月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度社会福祉法人さやか事業報告書 2 平成29年度社会福祉法人さやか決算書 3 監査報告書 4 事業報告書、決算書の承認について 5 平成30年度補正予算書について
第2回； 平成31年03月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度補正予算案について 2 平成31年度事業計画案について 3 平成31年度予算案について 4 法人監査報告について 5 経理規程の変更について 6 工賃変動積立金の口座変更について

07. 広報活動

① 「事業／活動報告」

毎月01日発行	配布部数 部
平成30年04月01日発行～平成31年03月01日発行 / 12回発行	

08. 就労継続支援B型事業所さやか工房(定員20名)の運営状況

①現況

管理者(施設長) ; 上原京子 サービス管理責任者: 上原京子 職員 ; 05名(管理者・サービス管理責任者含) 利用者 ; 17名(平成30年3月31日)

②月別利用人数の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数	22	23	22	23	23	22
利用延人数	358	362	355	364	355	353

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	23	22	23	23	20	23	269
利用延人数	361	343	364	336	301	364	4,216
1日平均利用人数							15.7

③就労支援事業の内容

部品の袋詰め、ウエス加工、ポスティング、印刷物の封入封緘作業、印刷物折り、
ちらし差し込み作業
染・織製品の制作販売等

④売上額等の実績

(1)就労支援事業収入	総額	2,626,668円	>	2,338,605円	昨 年 度 実 績
	内 下請部門	2,391,758円	>	2,163,840円	
	内 自社製品	234,910円	>	174,765円	
(2)工賃	賃金総支払額	2,285,870円	<	2,315,440円	
	一人平均月額	11,205円	>	11,131円	

⑤行事/旅行等の実施

上期		下期	
04月07日	新年度式/会食会	10月23日	日帰り旅行仙崎、元乃隅稻荷神社
05月15日	日帰り旅行 岩国	12月25日	クリスマス会
06月10日	運動会(送迎車)	03月29日	納会

⑥健康診断の実施

*内科検診

平成30年09月12日～	基本検診、胸部レントゲン、相談	職員同席
平成31年03月28日	基本検診、血液検査	施設長同席

*歯科検診

平成30年06月05日～	基本検診	職員同席
--------------	------	------

⑦防災訓練の実施

平成 30 年 07 月 02 日	図上訓練(風水害想定、避難訓練)	職員 4 名
平成 30 年 09 月 18 日	火災想定	職員 6 名, 利用者 17 名
平成 30 年 12 月 15 日	火災想定、避難訓練	職員 6 名、利用者 16 名
平成 31 年 01 月 24 日	地震想定、避難訓練	職員 6 名、利用者 14 名
平成 31 年 03 月 12 日	地震想定、避難訓練	職員 6 名、利用者 17 名
平成 31 年 03 月 30 日	火災想定、消火訓練	職員 4 名、利用者 15 名

⑧休暇

平成 30 年 08 月 11 日～平成 30 年 08 月 15 日	夏期休暇
平成 30 年 12 月 29 日～平成 31 年 01 月 03 日	冬期休暇

⑨生活・活動支援状況

- イ)生活実習(買物/調理/洗濯) 5回/週実施
- ロ)ボランティア活動(日赤タオル巻き) 1回/週実施
- ハ)余暇活動(お茶御稽古/外出レクリエーション) 1回/週実施

09. 共同生活援助事業さやかホーム(定員 09 名)運営状況

①現況

管理者	上原 京子
サービス管理責任者	中村 陽子
職員	08 名(管理者・サービス管理責任者含)
利用者	02 名(平成 31 年 3 月 31 日) 共同生活住居/花束(定員 03 名)
利用者	03 名(平成 31 年 3 月 31 日) 共同生活住居/大地(定員 03 名)
利用者	03 名(平成 31 年 3 月 31 日) 共同生活住居/すばる(定員 03 名)

②月別利用人数の実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開設日数	30	31	30	31	31	30
利用延人数	214	223	216	219	216	214

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開設日数	31	30	31	31	28	31	365
利用延人数	228	212	220	199	190	226	2,577

1 日平均利用人数	7.1
-----------	-----

10. 利用者支援～保護者面談(サポート会議)～の実施

- イ)全員実施(3ヶ月毎を基本)
- ロ)主な討論内容
 - ・支援計画書に基づく課題について
 - ・利用者の健康管理について
 - ・将来生活プランについて
 - ・障害特性による個別課題について

1 1. 職員状況

①現況(平成 31 年 3 月 31 日)

上原 京子(施設長)	中村 陽子	永井 京子
田邊 善子	弘中 洋子	中村 三樹子
山本 都	上原 秀次	原 正枝
中原 沙織	末永 チヅコ	
澄川 成子	浦 優美子	

②施設内研修会の実施

平成 30 年 10 月 20 日	成年後見制について 21 講師；平野真由美、藤林玲子
平成 31 年 03 月 17 日	成年後見制について 22 講師；藤林玲子

③施設外研修会参加

平成 30 年 07 月 17 日	グループホームの現状と課題 居宅支援部会研修	受講；中村陽子
平成 30 年 08 月 06 日	虐待防止、人権擁護研修	受講；中原沙織
平成 30 年 08 月 09 日 10 日	相談支援初任者研修	受講；田邊善子
平成 30 年 12 月 21 日	てんかん者に対する就労支援について	受講；山本 都
平成 31 年 01 月 18 日	福祉施設等セルフマネジメント研修 発達障害について	受講；山本都

～おわりに～

平成 11 年のさやか工房開設から 20 年、平成 17 年 1 月社会福祉法人さやかの設立から 14 年の月日が経ちました。

さやかの歩みとして、第一次 10 年計画は（平成 11 年～）、障害者のトータルな人生支援できる組織作りを目標とし、社会福祉法人を設立しました

第二次 10 年計画は（平成 21 年～）親なき後も障害者の生活を支えることのできる組織強化を目標としました。就労継続支援事業、共同生活援助事業の 2 事業を展開し、利用者も増え、事業に必要な土地建物を法人所有とし、財政の安定をはかりました。

平成 30 年度は第二次 10 年計画を終え、いよいよ第三次 10 年計画へすすむため、法人組織の世代交代、後継者作りを課題とし、「共に生きる、共に歩む」というさやかの理念を継承、体現できる組織体制の確立をすすめていきました。平成 30 年度全体としては安定した事業経営をすることができました。将来的な事を考え事業拡大をした共同生活援助事業については、利用者の未来を託すことができるような安定したものにしていかなければならないという課題がでてきました。

高齢化社会を迎え、人生 100 年計画という言葉もでて、生き方、死に方につい

て話題になるこの頃ですが、障害者福祉の分野でも、『親亡き後、障害のある子供のためにしておくべきこと』というテーマが多く語られるようになりました。障害者の親にとって、障害者に関わるものにとって、共通の差し迫った問題になっていると思います。

さやかでは親亡き後のこと、障害者の高齢化、障害の重度化について平成20年度から成年後見制についての研修会を続けています。8050問題のこと、障害者にとっての遺産相続の問題、障害者の終末期のケアの問題など、まだまだ先のことと思っていたことがすぐ目の前の現実になってきたことを実感します。さやかに集うみんなが幸せな人生をおくることができるように、親亡き後も幸せに生活することができるように、という願いはいつも変わらないものですが、具体的にどのように支援するのか、何を準備するのか、を示していかなければなりません。

法人として、今までの歩みを振り返ったとき、これからの10年は今まで以上に困難であり、法人としての思想、信念を問われるものだと思います。どんなときにもさやかに集う障害者に寄り添い、希望を持って進みたいと思います。力を尽くし、頑張りましょう。

令和元年（2019年）05月01日